



挑・研・創

共感・共学・共生
至誠・礼節

TEL 0955-23-5191

URL <https://www.education.saga.jp/hp/imarishougyoukoukou><https://www.education.saga.jp/hp/imarijitsugyoukoukou>

「歴史に学ぶこと」

生徒指導部 馬場 大一郎

皆さんは、吉田松陰という人を知っていますか？吉田松陰は江戸時代後期に長州の片田舎、今の山口県萩市という地域で「松下村塾」という学校を開き、たった2年4ヶ月間、92名の若者に教を残しています。その門下生には高杉晋作、久坂玄瑞、木戸孝允、伊藤博文、山県有朋等の幕末の志士がいました。その中から明治維新後、初代総理大臣に伊藤博文、第2代に山県有朋が就任しています。その他、数十名の大臣や官僚を輩出しています。特別優秀な人を集めたわけではなく、しかも、2年余りという短い期間の教えで、歴史に名を残すような人材を次々に育成したことから「奇跡の学校」と言われていたそうです。

その後、松陰は安政の大獄で30歳という若さで命を失いますが、その教えは今でも山口県萩市では受け継がれ、地元の人から松陰先生と呼ばれて親しまれています。

吉田松陰はここで何を教えたのでしょうか？松陰が90名程度の若者たちに教えたことは「お前は何のために生まれてきたのか」「お前の生まれてきた役割は何か」ということを考えさせ、気付かせてあげたということです。「お前の長所はこういうところだぞ。これから、それを活かして、いかに世の中に役立てるべきか」ということを教えたのです。自分の長所や役割に気づいた人はすごいパワーを発揮し、歴史に名前を残しています。

しかし、門下生の中には、「松陰先生、世の中に生まれてきた役割と言われても私にはわかりません。どうすればよいのでしょうか」と尋ねる者もいました。そんな門下生に対して、松陰はこう言ったそうです。「至誠を貫きなさい。至誠とは、普段やらなければいけないことを、真剣に本気で誠意をもってやることだ。朝起きたら、玄関や部屋の掃除、鶏への餌やり、布団干し・・・そういうことを真剣にやりなさい。絶対に手を抜かないで、とにかく何事に対しても真心を込めて真剣にやりなさい。そうしていたら、いつか自分の役割が必ずわかる。」

みなさんに置き換えてみれば、「心のこもった挨拶をする」、「掃除の時間は心を込めて掃除をする」「時間をきちんと守る」、「授業を真剣に受ける」、「人の話はきちんと聞く」等のことでしょうか。全てにおいて、誠心誠意取り組みなさいということです。

そうすることで、人生の役割ということがわかるのか疑問に思うかもしれませんが、私のこれまでの人生観においても納得できることが多くあります。皆さんも高校生のうちはわからないかもしれませんが、今後仕事に就いた時にその仕事を誠心誠意やっていけば、いつか必ずわかる時が来ると思います。

その時、与えられた仕事を誠心誠意きちんとやることで、「自分の役割ってこういうことかな」と気づくのではないのでしょうか。そのためにも日常の当たり前のことをきちんとやっていく、この繰り返しが大切なことだと私は考えます。

「凡事徹底」とい言葉がありますが松陰が塾生たちに教えたことがまさにこのことだったのではないのでしょうか。

「普段の生活の中で、至誠を貫くこと」「自分の人生の役割に気づくこと」。この二つが大変重要であるという松陰の教えです。生徒の皆さんのこれからの生活の一助になれば幸いです。

1/28~31 2年生修学旅行～新潟～



修学旅行～東京～



2/20(木) 進路ガイダンス



3月の予定

1	日	第67回卒業式	13	金	生徒臨時休校
3	火	大掃除 全校集会	16	月	個人写真撮影
4	水	生徒校地内立入禁止(終日) 生徒臨時休校	17	火	1年:県内企業見学会
5	木	生徒立入禁止(校地内:15:00 まで 校舎内:終日) 生徒臨時休校	18	水	地域清掃活動 2年:伊万里”いい職”説明会
6	金	生徒校舎内立入禁止(終日) 生徒臨時休校	24	火	大掃除 表彰式 修了式 退任式

